



(左)右から代表の新田さん、松田さん、角田さん。「自分たちの住む地域を良くしたい」という思いで集まったメンバー  
(右)「マミクリ・プレイス」の託児スペース

## SOCIAL

## 子育て中のママが作ったママのための会社「マミー・クリスタル」

コロナ禍による外出自粛が続くなか、家事や育児をする母親の負担が増えている。摂津市に、そんな母親が自分の時間を過ごしたり、子育てしながら働いたりできる場を提供している企業がある。

立ち上げたのは新田昌恵さん。現在3人の子どもを育てながら「マミー・クリスタル」代表として働いている。起業のきっかけは、2011年、子育て中に「ママとつながる機会がほしい」とSNS「mixi(ミクシィ)」でコミュニティを作ったことだった。コンセプトは「講師もママ、生徒もママの習い事サークル」。「資格はあるけど子どもがいるから教えられない」「習いたいけど子どもがいるからレッスンに通えない」といった思いを抱えた母親たちが集まり、1ヵ月でメンバーは100人ほどに。自宅のリビングで料理やお菓子作り、フラワーアレンジメントなどの講座を開くと、毎回キャンセル待ちが出た。

2013年には「摂津でイベントをしたい」というメンバーの声から「摂津まるごとマーケット」を開催。摂津市内の飲食店などが出店し、1日で約5,000人を集客するイベントへと

成長した。企業から母親をターゲットにした商品開発などの仕事が舞い込むようになり、2019年、株式化して再スタートを切った。

昨春の緊急事態宣言時には、家事の負担が増えるというニーズをくみ取り、摂津市の配食サービス業者「キッチン・ころぼ」と企画し、母親のリアルな声をもとに弁当を開発。発案から1週間で注文サイトを立ち上げた。

昨年は託児つきサロン「マミクリ・プレイス」をオープン。ネイルやマッサージのほか、各種レッスンが受けられる。今年からは企業の業務請負にも力を入れ、子育てしながら在宅で仕事ができる仕組みもスタートさせた。

コロナ禍で休業を余儀なくされる企業が相次ぐなか、母親の思いを形にしながら働ける仕組みを作りだした新田さん。目標は「全国にマミー・クリスタルを作ること」。「旦那さんの転勤などで摂津を離れて行ったメンバーたちに10年間、約束し続けてきたので」。一人の母親から生まれたサークルは全国へ広がっていく。

## CULTURE

## 高槻市の郷土史家・古藤幸雄さん「悲劇の武将 松永久秀と高槻」を出版

高槻市の郷土史家、古藤幸雄さん(81)が1月、戦国の三悪人の一人とされる武将を取り上げた「悲劇の武将 松永久秀と高槻」を出版した。大河ドラマ「麒麟がくる」にも登場した久秀(1508～1577)は、高槻出身といい、近年の研究では主君に忠実に仕えた武将だったと再評価されている。古藤さんは「久秀の正しい人物像を伝えたい」と、出身地の現地調査も重ねて書き上げた。

古藤さんは高槻市立の中学校で英語教師として長年勤務した。同市大蔵司の生家が元は庄屋で多くの古文書が残されていたことから、27歳のころ古文書の読解を学び始めた。以降、こつこつと歴史研究を進め、地域の近世史を中心に著書も

数冊出している。

近年は市北西部の三好山(182メートル)山頂にある芥川山城跡や山道の整備に地元有志と取り組んできた。2018年の台風で倒木が道をふさぎ、山頂のほこらが壊れたが、気を取り直して復旧を進め、昨秋、ほこらの再建も終わった。ほこらは16世紀半ば、畿内や周辺を支配し、一時この城を本拠とした三好長慶をまつる。久秀は長慶の家臣。ほこら再建に伴い、地元出身ということで久秀も合祀された。

久秀は長慶やその嫡男に仕えた後、織田信長とともに戦ったが、信長に反旗を翻し、居城の信貴山城(奈良県平群町)で自害した。將軍・足利義輝や長慶の嫡男を暗殺し、東大寺大仏殿を焼いた大悪人とされ

## CULTURE

## 結成10周年・吹田市発ロックバンド「SHE'S」ドラマ主題歌など活躍中

吹田市発のピアノロックバンドSHE'S(シーズ)の活躍が目覚ましい。SHE'Sは2011年に井上さんらが高校卒業と同時に結成、2016年にメジャーデビュー。ポピュラー兼キーボードの井上竜馬さんのピアノをメインに据えたバンドで、メンバーは他に広瀬臣吾さん(ベース)、服部菜汰さん(ギター)、木村雅人さん(ドラム)の4人だ。

近年だとテレビCMのタイアップも多いほか、残念ながら中止となってしまった昨年のセンバツ高校野球のテーマソングにもなっていた。今年は2月17日にリリースした6thシングル「追い風」が、現在放送中のドラマ「青のSP(スクールポリス)ー学校内警察・嶋田隆平ー」の主題歌に採用されて話題になっている。

今年にはちょうど結成10周年でありメジャーデビュー5周年。記念すべき年のキックオフ公演として、2月末には吹田市のメシアターで、十分なコロナ対策を実施した上で、ライブを予定している(2月中旬時



左から木村雅人さん、広瀬臣吾さん、井上竜馬さん、服部菜汰さん。SHE'S 10th Anniversary「Back In Blue」の関西公演は5月8日・大阪城音楽堂。

点)。今年の元旦に公開したYouTubeでは「合唱、観劇、成人式など、幾度となく訪れたメシアターでライブができる」「中学の時にいつかここでライブがしたいと思っていた」など語っていた。

今年5月から6月末にかけてはアニバーサリーツアーとしてSHE'S 10th Anniversary「Back In Blue」を開催し、自身初となる大阪城音楽堂の単独ライブの開催も。今後も活躍が期待される地元アーティストに注目したい。

From CityLife

**CityLifeのホームページにも地元情報が満載!!**

<http://citylife-new.com> CityLife で検索

- CityLifeの紙面情報をより詳しく、ご覧いただけます  
お店の情報を動画でチェック!
- スマートフォンからもご覧いただけます

\* カテゴリーや地域分けて検索も簡単 \* 記事の人気ランキングも表示 \* 新着記事も写真付きでわかりやすい



著書を手にする古藤幸雄さん＝高槻市大蔵司2丁目の自宅で。

身の見解を交えて叙述した。

古藤さんは久秀を「主君に忠誠を尽くし、畿内を支配した『三好政権』のナンバー2にまでなった非常に優れた人物」と評する。「なのに信長らに翻弄され、滅亡させられたうえ、後世にまで悪評を残された悲劇の武将だ。この本で彼の無念を晴らせたら」と言う。

「悲劇の武将 松永久秀と高槻」(一粒書房)2,000円(税抜)。JR高槻駅前・アクアモーレの大垣書店高槻店で販売している。

## コラム / COLUMN

## フカボリ調査

## 2033年度事業完了に向け始動中 摂津市駅付近「開かずの踏切」高架化の現状

2018年7月号では摂津市駅の「開かずの踏切」について紹介しました。連続立体交差事業として測量・調査は着々と進んでいますが、開かずの踏切を頻繁に通る編集部としては、現状が気になるどころ。そこで摂津市 建設部 連続立体交差推進課にお聞きしました。

現在着手しているのは事業用地の取得。

高架化にあたり、環境側道と呼ばれる側道をつくる必要があるそう。「これは近隣施設の日当たりの確保や騒音などの影響を軽減し、沿線の土地利用を促進するために設けられます。そのため高架化する線路沿いの土地を取得する必要があります」と摂津市の担当者。また、工事中も電車が走れるよう、仮線路の工事も行われるようです。「工事中も

鉄道の運行を止めることはできません。高架化の前に、仮線路を作る必要があります。まずは摂津市駅の東側から仮線路の関連工事ははじまる予定です。それに向けて重点的に用地取得が進んでいる状況です」。

2018年6月18日に発生した大阪北部地震では、摂津市駅周辺の踏切が全て封鎖され、救助に向かう救急車が通れないと

建物の取り壊しが順次行われています。



いう事態に陥ったそうです。「この出来事で、連続立体交差事業の重要性が再認識されました」。災害に強いまちづくりという意味でも、摂津市駅周辺の高架化は重要な事業になりそうですね。